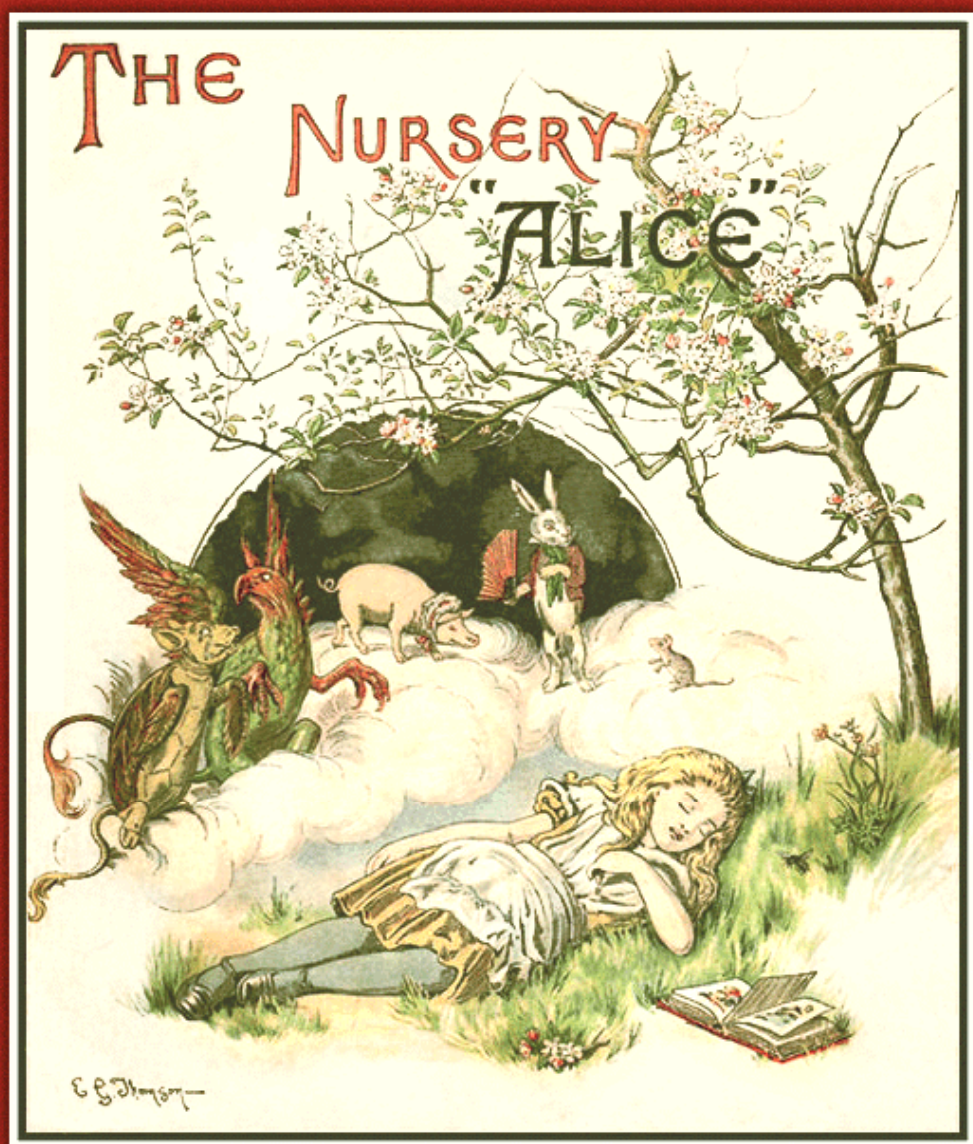


えほんのアリス

The Nursery "Alice"



作 ルイス・キャロル 絵 ジョン・テニエル

訳 大久保 ゆう

えほんのアリス

ルイス・キャロル さく

ジョン・テニエル え

おおくぼ ゆう やく

こどもべやの いとしご

ママの むねは
こどもが かけこむところ
こわい あぶない かなしい
まわりが まっくらなとき
ほらほら ねむっている
あそこから こえの ない
いのりの うたが きこえる
やすらかな こころの

こどもの キスは
くちびるから ながれでる
あいの しるし なんとでも
つたわる すてきな おもい
おんなのこの よろこびが
あふれそうなほど いっぱい
ゆめの ぶたいは いつも
しあわせな おうち

まえがき

(お母さまがたへ)

確かな話では、『ふしぎの国のアリス』は、5歳から15歳までのおおぜいの子どもたちに読まれたとか。同じように、15歳から25歳の子どもたちにも。それだけでなく、25歳から35歳の子どもたちにも。さらに、まさかまさか、まだ元気いっぱい、すれてもいない、あかぬけてもいない、あきらめきってもいない、生き生きした子どもたち、子どもの頃から湧き上がる喜びの泉をそのままに欲しがる子どもたち、その長年のお話が語られぬままうやうやく葬られるような、「それなりの」お歳の子どもたちがいらっしゃって、その方たちになにまで読まれるとは。

そこで今回目指すのは（むちゃかな?）、0歳から5歳の子どもたちに読んでもらうことです。読む? いや、違う! むしろ、めくって、きゃっきゃ喜んで、端を折り曲げて、しわくちゃにして、キスしてほしいのです。読み書きのできない、えくぼのある幼い子どもたちに。子ども部屋をゆかいなさわぎ声で、その心の奥の奥を、安らかな幸せでいっぱいにしてほしいんです!

たとえば、昔知り合った子どもにこんな子がいまして——女の子には、どんなものでもひとつでじゅうぶん、パンふたつ、オレンジふたつ、何かふたつってほしがっていると、きっと「がめつい」わるい子になっちゃうぞって、しつこく言いつけられてて——そんな子がある朝、ベッドで体を起

こして、2本ある自分の小さなあんよをまじまじと見つめて、こうつぶやいたんです。ふと、ばつわるように、「まめちい！」

1 8 9 0 イースターの時節に

1 しろうサギ

むかしむかし アリスという おんなのこが いてね、 とっても ヘ
んてこな ゆめを みたんだ。

いったい どんな ゆめだったか、 ききたい？



さあて、これが はじめの
ばめん。 しろうサギが すぐ
そばを おおあわてで はしっ
ていくところ、 アリスと す
れちがいざま あしを とめて
ポケットの とけいを とりだ
してね。

そんなの おもしろくないっ
て？ よく みてごらんよ、
ウサギが とけいを ポケット
に いれて もちあるいてるん
だよ？ そりゃあ ウサギだっ

て とけいを もつなら ポケットに いれるってもんさ。 くちに い
れたって もちはこべないしね—— それに はしりまわるんなら、 て
が たりなくなるし。

あと おめめが あかくない？ (しろうサギって みんな おめめが

あかいと おもうんだけど。) みみも あかい、 きている うわぎは
すてきな ちゃいろ、 それにほら ポケットから あかい ハンカチが
のぞいてる。 ほかにも あおの ネクタイやら きいろの チョッキと
か、ほんとに とっても おしゃれで。

「やんぬるかな！」と ウサギさん。「ちこくで おじゃる！」 いった
い どこへ ちこくしそうなのかな？

うん、 それはね ごせんさまの ところなんだ。(もうちょっとした
ら だいどころにいる そのひとの えが でてくるからね。) ごせん
さまはね いつも いらいらしてる おばさまのこと。 ウサギさんは
またせたりしたら ひどく しかられるって おもってね。 かわいそう
に これでもかってくらい びくびく。(どんなに ぶるぶるしてたか
わかる？ ちょっと ほんを ゆすってごらん、 みぎひだりに。 ほら、
ぶるぶるしてる。) だってね ウサギさん ばつとして くびを ちょ
んぎられるかもしれないんだよ。 ハートの クイーンが いつも やる
ことなんだけど、 はらを たてたら ちょкин (さしえは また あと
でね)。 といっても そのひと いつも ちょんぎれって いいつける
だけで、 そうなると おもいこんでるんだけど じつは だあれも そ
んなこと しない。

はてさて、 しろウサギが はしりぬけていったんだけど、 アリスは
そのさきが きになってね。 だから ついてったんだ。 で、 はしっ
て はしっていると いきなり ウサギあなに おっこちちゃって。

ずっと ずーっと おちつづけてね。 ぴゅ——うう——うう、 この
まま せかいを まっすぐ つきぬけて、 うらがわに でちゃうんじゃ
ないかって アリスは そんな きがしてきて！

ふかい ふかい いどみみたいなのに おみずは ぜんぜん なくって。
こんなところへほんとに おちちゃったら どんなひとだって きっと
しんじゃう。 でもほら ゆめのなかだから おちたって けがひとつ

ない。だって おちてると おもってるあいだも ほんとは よこになって なんのこともなく ぐっすり ねむってるだけなんだから！

それでも いつかは あなのそこに たどりつくわけで、 アリスは うずたかく つまれた おちばと えだのうえへ どすん。 けがひとつなく ぴょんと おきあがると また ウサギのあとを おいかけたんだ。

こうして アリスの へんてこな ゆめが はじまったってわけ。 こんど しろウサギを みかけたらね、 アリスちゃんみたく へんてこな ゆめを みてみたら いいんじゃないかな。

2 アリス おつきくなりすぎ

というわけで アリスは ウサギあなを おっこちたあと じめんのな
かを えんえん はしってたんだけど、 きがついたら いきなり おお
きな ひろまに いてね、 まわりに ぐるりと ドアが いっぱい。

ところが どのドアも かぎが かかってて。 てことは かわいそう
に アリスは ひろまから でられない。 だから なんだか かなしく
なってきてね。

それでも しばらくしてから テーブルのそばに いて。 ぜんぶガ



ラスで できていて さんぼんあし
(さしえでは 2ほんが はっきり、
のこりの 1ぽんが ちらっと み
えてるよね、 わかる?), で そ
のテーブルのうえに ちっちゃな
かぎが あった！ ひろまをぐるり
と まわって、 これで ドアが
どれか あかないか ためしてみた
んだけど。

かわいそうな アリス！ そのか
ぎ どのドアも ひらけなくって。
でも さいごに やってきた ちっ

ちな ドア、 するともう うれしいのなんの、 かぎが ぴったり あったんだ！

そのちーっちな ドアを あけて、 しゃがみこんで なかを のぞきこんだんだけど、 なにが みえたとおもう？ もう とーっても すてきな おにわで！ そこに いきたくって いきたくって！なのに ドアが ちっちゃすぎるんだ。 からだを おしこんでも とてもむりで。 きみが ねずみの すあなに はいれないのと おんなじこと！

かわいそうに アリスちゃんは しっかり とじまりして、 かぎを テーブルに もどしてね。 すると さっきまで なかったものがある ことに きがついて（もういちど さしえを みてね）、 これ い ったい なんだとおもう？ こびんだよね、 ラベルが ついていて そこには 「ノンデ」の もじ。

そんなわけで くちを つけてみる。 すると とっても おいしくて、 あらためて いっきのみ。 そのあと もう へんてこなことになっ てさ！ おもっても みないことだよ。 ふふ、 じつはね。 アリスが ちいさく ちいさくなって行って、 さいごには ちっちゃな おにんぎ ょうさんくらいの おおきさに なったんだ！

そこで ひとりごと。「あら このおおきさなら ちいさな あのドア も うまく とおりぬけられてよ！」ってことで はしりだす。 でもね たどりついた ドアは あかないわけで、 かぎは テーブルのうえ、 しかも これじゃあ とどかない！ どうして しっかり とじまりなん か しちゃったんだろうね！

はてさて、 そこで また みつけたのが ちっちゃな パンケーキ。 こんどは こげあとが 「タベテ」って ことばに なってて。 なので さっそく たべて ぜんぶ のみこんだ。 そのあと どうなったとお もう？ うん、 おもいも よらないこと！ ふふふ、 じつはね。

アリスは おっきく おっきーくなって行ってね。 せなんか もとよ

りも たかくって！ こどもよりも お
っきく！ おとなよりも おっきく！
ぐんぐん によきによきと！ えを み
てごらん、 こんなに のびちゃって
さ！

いったい どっちがいいと おもう？
ネコちゃんくらいの おおきさの ちっ
ちな アリスと、 てんじょうに あ
たまを ぶつけっぱなしの おっきな
アリス。



3 なみだまり

もしかして アリスが たのしんでるとか おもってる？ ちいさい
パンケーキを たべて きづいたら とんでもなく おっきくなってたか
らって。 そりゃあ なんなく ガラステーブルから かぎを ひろえる
し、 ちっちゃな ドアも あけられるけど。

うん そりゃあ できるとも。 でもね、 とおれないのに ドアを
あけて どうなるって いうの？ ひどいってもんじゃないよ、 かわい
そうに！ あたまを ゆかちかくまで ひくくすれば、 かためで なん
とか のぞけるくらいなんだ！ でも できるのは それだけ。 こう
おおきくなってしまうと、 すわりこんで、 むねが さけそうなくらい
おおごえで なくのも むりない はなしさ。

えーん えーん ないて。 そのうち なみだが ひろまの まんまん
なかに こぼれていって、 かわが ながれるみたいに なって。 あっ
というまに おおきな なみだまりが できて、 ひろまの はんぶんが
ひたっちゃった。

もう どうしようもないとこだったんだけど、 そこへなんと たまた
ま しろウサギが ごぜんさまのもとへ むかうところ このひろまを
とおりがかったんだ。 めいっぱい めかしこんで、 かたてには し
ろの かわてぶくろ ひとくみ、 もう かたてには ちいさな おうぎ。
ぶつぶつ ひとりごとを いっててね、「あいや、 ごぜんさま、 ごぜ

んさま！ おまちさせて かんかんだなんて いやでおじゃる！」

なのにさ アリスに めもくれずで。そこで くちを あけて 「もし、 よろしくって ——」 なんていうと てんじょうから こえがしてるみたいで。なにせ あたまが たかーいところに あったからね。すると ウサギは ものすごく おびえて。てぶくろと おうぎをとりおとして、 ぜんそくりよくで にげてった。

そこで ほんっと へんてこなことに なって。アリスが おうぎをとりあげて じぶんで あおぎだしたんだ。すると ごらんあれ、みるみる ちいさくなって、 1ぷんも したら ネズミくらいの おっきさに！



ここで さしえを みてね。つぎに おこったこと もう わかるよね？ ほんとに うみみたい、 ね？ でも まちがいなく これは さっきの なみだの いけ —— ぜんぶ アリスのなみだで できたものなんだ！

そういうわけで アリスは いけに ぼちゃん。ネズミも ぼちゃん。いろんなのが いっしょになって およいでる。

このえの およいでる アリス、 かわいくなあい？ みなもの したあたり、 アリスの あおい くつした みえるよね？

でも このネズミ どうして こんなに あわてて およいで アリスから はなれようとするのか。 はて そのわけは、 アリスが イヌネコについて はなしだしたからなんだ。 ネズミは いつだって イヌネコの はなしなんか いやだからね！

きみが じぶんの なみだで できた いけを およいでるとして、そこで だれかが おべんきょうとか おくすりのことを はなしだしたら、 やっぱり めいっぱい およいで どこか いっちゃいたくならない？

4 どーどーめぐり



アリスと ネズミが なみだの いけから あがると、 やっぱり ずぶぬれで。 たくさんいた へんてこ いきものたちも おんなじで、みんな いっしょに おっこちててね。 そこにいたのは ドードー（まんまえに いる おおきな とりで、 つえに よっかかっているね）、それと アヒルに インコ（アヒルの まうしろで あたまごしに みる やつね）、 あと こどもワシ（インコの ひだりがわに いる やつ）とか そのほか いろいろ。

さてところで そのみんなだけど どうやって からだを かわかした
ものか さっぱり わからなくて。 けれども ドードーが —— あ
たまの いい とりだから —— どーどーめぐりを するのが よろし
い なんて いってね。 いったい なんのことだと おもう？

わからない？ だったら きみは まだまだ こどもだね！ じゃあ
よおく きいてね、 すぐに ちゃんと わかるから！

まずは はしる コースを つくること。 そのかたちは まるなんだ
けど とりあえず ちゃんと まるになって ひとつに つながってれば
なんでもいい。

とにかく やるひとは コースの あちこちに たって、 くつつきす
ぎなければ なんでもよくて。

しかも 「いちについて よーいどん！」なんて かけごえも いらな
くて、 みんな すきなときに はしりだせばいいし、 すきなときに
やめていい。

そこにいた いきもの、 アリスと みんなは ぐるぐる はしりっぱ
なしで それを かわききるまで つづけたんだ。 で、 さいごに ド
ードーが みんなの かちって いって、 みんな ごほうびが もらえ
ることに！

もちろん アリスが ごほうびを あげる やく。 とはいえ あげる
ほどのものも なくてね、 たまたま ポケットに ドライフルーツが
あったもんだから、 ひとりひとつずつ みんなに わけた。 すると
アリスのぶんの ごほうびが たりなくて！

そこで どうなったと おもう？ あと アリスが もってたのは、
おさいほうの ゆびぬきだけ。 ほら さしえを みて、 どうなったか
わかるよね。

「こっちへ かしなされ。」って ドードーが いった。

で、 ドードーは ゆびぬきを うけとって、 また アリスに かえ

して、こんなことば。「みごとな このゆびぬきを われらより おう
けとりくだされ！」 というわけで そのばの いきものが ぱちぱち
わーわー。

こんな へんてこな おくりものって ある？ かんがえてもみてよ、
おたんじょうびプレゼントを くれるってひとが、 きみの おもちゃば
このところへ 行って、 そこの きれいな おにんぎょうを とりだし
て 「はい、 いいこだから このすてきな おたんじょうびプレゼント
を あげよう！」なんて いうのと、 まだ もってない あたらしいも
のを くれるのと、 どっちが いい？

5 トカゲの ビル

さあて つぎの おはなしは、 しろウサギの おうちで アリスが どうしたか。

おぼえてる？ ウサギが てぶくろと おうぎを おとしたときのこと。 アリスの こえが そらから きこえてきたのかって びっくりしたんだよね。 だから てぶくろも おうぎも ないままじゃあ そりゃ あ ごぜんさまのところへも おうかがいできない。 そこで ちょっとしてから さがすために ひきかえしたんだ。

ドードーと へんてこどうぶつたちが どこかへ いっちゃんころには、 アリスも ひとりきりで あたりを うろついててね。

で、 ウサギさん どうしたと おもう？ なんと アリスを じぶんちの メイドさんと かんちがいして、 あれこれ いいつけだしたんだ！ 「メリアン！ いますぐ うちに いって、 てぶくろと おうぎを とってくるでおじゃる！ いそぐでおじゃる！」

ひょっとすると あかい おめめは まえが あんまり みえないのかも。 だって アリスと メイドさんは にてもにつかないんだよ？ それでも とっても いいこだったから、 ちっとも きをわるくせずに ぜんそくりよくで ウサギの おうちへ むかってね。

つごうよく ドアは あいてて。 だって ちりんちりん やることになったら、 きっと ほんものの メリアンが ドアを あけにくるから

ね。 そうしたら アリスは なかに いれてもらえない。 それから うんよく ほんものの メリアンには あわないまま かいだんを ところ ところのぼれて。 アリスが どろぼうだって つかまえられたら たいへんだからね！

あがって すすんで ウサギの おへやに はいると、 そのの テーブルのうえに てぶくろが おいてあったから、 さっと とって でていこうとした そのとき、 たまたま めにはいったんだ。 テーブルのうえの こびんが。 もちろん あのことは 「ノンデ！」って ラベルつき。 そりゃあ アリスも のむよね！

まったく、 よかった よかった。 じゃない？ だって ここで のまなかったら、 これから はなす すてきな おはなしも おこらなかったんだから。 そうなると やっぱり ざんねんだよね？

もう アリスの おはなしにも なれてきたから、 つぎに どうなるか わかるよね？ むりなら きいてて。

おっきく おっきーくなったんだ。 ほんの あっというまに おへやは アリスで ぎゅうぎゅう、 まるっこい びんに ジャムが ぎっしり つまってる、 ちょうど ああいう かんじ！ てんじょうまで ずっと アリスで、 おへやの どのすみにも アリス！

ドアは うちがわに ひらくものだったから、 やっぱり どうやっても あく すきまが ないわけで。 そのとき ウサギが まちくたびれて じぶんで てぶくろを とりにかえってきたんだけど、 もちろん なかに はいれなくって。

で、 どうしたと おもう？（さあて ここで さしえ。） トカゲの ビルを おうちの やねに のぼらせて、 えんとつを おりてけていいつけたんだ。 ところが たまたま アリスの かたあしが だんろに つっこんでてね。 ビルが えんとつを おりてくる ものおとがしたとき、 かるく ちょこんと けりあげちゃったから、 ビルは は

じきとばされて、 おそらへ ぴょんと
でっちゃんんだ。

かわいそうな ビルくん！ そう おも
わない？ きっと ものすごく ふるえて
たよ！



6 かわいい ワンコちゃん



えっ、 そんなワンコちゃんには みえないって？ でもほら、 いまは アリスのほうが ちっちゃくなっちゃったから。 そういうわけでワンコが おっきく みえる。 しろウサギの おうちで みつけた ちいさな ふしぎな パンケーキ、 それを ひとつ たべた アリスは

ぐんぐん ちいさくなって そのまま ドアを とおれるようになって
ね。 そうでないと もう おうちから そとへ でられないところだっ
た。 かわいそう、 じゃない？ だって これから はなす へんてこ
な ことなんて ゆめにも おもってなかったんだもん。

とにかく ほんとは ちいさな ワンコ、 ね。 かわいい ペットじ
ゃ なあい？ なら ちょっと このようすを みて、 アリスの さし
だした ぼうきれに ほえてるよね！ ほら アリスも ちょっと こわ
がってる、 ずーっと。 だって でっかい アザミの かげに かくれ
てるし、 こっちに とびかかってくると いけないからね。 そうなっ
たら 4とうだての ばしゃに ひかれたのと おんなじくらい アリス
が ひどいことに なっちゃう！

ペットの ワンコちゃん きみの おうちでも かってる？ いるなら
いつも イヌに やさしく、 ちゃんとした えさを あげると いい
んだけど。

むかしむかし あるところに ぼくの しりあいの こどもたちが お
りました。 せのたけは きみと おんなじくらい。 ペットに ワンコを
かっておりました。 なまえは ダッシュ。 これは そのこどもたちか
ら きいた、 たんじょうびの ごちそうを あげたときの おはなし。
「しってる？ あるひね、 そういえば きょう ダッシュの たんじょ
うびだって なって、 いったの。『ダッシュに たんじょうびの ごち
そうを あげようよ。 あたしたちも たんじょうびに もらうでしょ
お？』 でね、 いっぱい かんがえて 『じゃあ なにが いちばん
いいかな、 じぶんたちの たんじょうびなら？』 でね、 また いっ
ぱい かんがえて さいごに みんなで ひとつに きめたの。『じゃあ
オートミールの おかゆだね、 ぜったい！』 だからね、 ダッシュ
も ぜったい きにいるって おもったの。

おてつだいさんの ところに 行って、 ひとさら おかゆを つくって

って いったね、 それから ダッシュを おうちに よんできて いったの。『さあ ダッシュ、 おたんじょうびの ごちそう あげる！』
ダッシュが よろこんで とびはねるって おもったのに、 なのに かみついてきて！

だから まえに おさらを おいて、 いったの。『もう ダッシュ、 がつつかないの！ いいこだから おとなしく たべて！』

で、 ダッシュ ペろペろって したを つけたんだけど、 そうしたら、 その、 とんでもない かおに なっちゃって！ でね、 あのね、 だいきらいだって、 もう ちっとだって たべるもんかって！ だから あたしたち スプーンで ぜんぶ のどに ながしいれなきやいけなくって！」

アリスも この ワンコに おかゆを あげるのかな？ するとは おもえないけどね。 そんなの どこにも もってなかったし、 さしえにも おさらが ないしね。

7 あおムシ

ワンコから にげだしたあと、 アリスが どうなったか しりたい？
ほら じゃれるには ほんと おおきすぎる どうぶつだったからね（たとえば カバの こども。 いっしょに たのしく じゃれられる？ むりだよ、 きっと でっかい あしで ずどんと パンケーキみたくペしゃんこに されちゃう！）。 だから きづかれずに にげだせたとき アリスは ほっとしたんだ。

で、 あちこち うろついたんだけど、 なにを したら もとの おおきさに もどれるのか さっぱりで。 そりゃあ なにかを のみくいすれば いいんだろうけど。 これまでも そうだったしね。 でも それが なんなのか おもいも つかなくって。

そんなとき ふと あらわれたのが でっかい キノコ。 せたけが たかくて つまさきだち しないと てっぺんに あるものなんて みえなくって。 で なにが みえたと おもう？ こんな の ぜったいに いいあてらんないね！

なんと おっきな あおムシ。

いまから はじまるのが アリスと あおムシの おはなしなんだけど、 まずは このさしえを よく みてね。

あおムシの まんまえに
おいてある へんてこな
は みずギセル。 けむり
を すうために つかうん
だ。 ながい くだを と
おって けむりが、 へび
みたく うねうね やって
くるってわけ。

で、 あおムシの なが
っぱな、 しゃくれあご、
わかる？ というより、
はなみたいな あごみたい
なもの、 が ただしいか
な？ ほんとは あしのう



ちの ふたつなんだけど。 ほら イモムシは あしが たくさん ある
よね。 そのしたを みてくと どんどん ついてるし。

きつと めんどうだと おもうんだけど、 あおムシは まいばん な
くなってないか あんなに たくさんの あしを かぞえるんだって！

それに すごく めんどうだと おもうんだけど、 どのあしから
うごかしたらいいか きめなきゃいけないんだってさ。 なんせ 40も
50も あしが あるから、 ちょっと あるくにしても どのあしから
うごかしたらいいか きめるだけで それなりの じかんが かかって、
もう あるくどころじゃないよ！

ともかく アリスと あおムシ いったい なにを おはなししたんだ
ろうね？

その、 アリスは いったんだ、 おおきさが いろいろ かわって
もう わけが わからないって。

すると あおムシが、 ちょうど いまの おおきさ、 これを どう
おもって きいてきてね。

アリスの ヘんじは、 もうちょっとくらい おおきになりたい ——
8センチじゃあ あんまりな おおきさだって！（8センチを はかって
みるとしたら なかゆびくらいの おおきさかな、 ほら このときの
アリスが それくらい。）

そこで あおムシが おしえてくれて。 キノコの かたはしを たべ
ると おっきくなって、 もうかたはしを たべると ちっちゃくなれる
ぞって。

なので アリスが ふたきれ ちぎって おそろおそろ くちに いれ
ると、 まあ けっこう いいかんじの せかっこうに なんとか なれ
てさ！ ようやく ごぜんさまのところへ むかったんだ。

8 ブタの あかちゃん

アリスが ごぜんさまのところへ うかがった おはなし、 ききたい？ほんとに おもしろい おうかがいに なってね。 きたいして いいよ。

もちろん はじまりは ドアの ノック。 でも だっれも でてこなくって。 だから じぶんで あけることに。

さあて さしえに めをやると、 なかに はいった アリスの めにとびこんだものが ちょうど わかる。



ドアが まっすぐ だいどころに つづいていてね。 ごぜんさまはおへやの まんなかに すわって あかちゃんをあやしてる。 あかちゃんは わんわん。 スープは ぐつぐつ。 コックさんが スープをまぜまぜ。 ネコ —— チェシアネコが —— にやにや、 チェシアネコは いっつも そうなんだ。 アリスが はいってきたときは ぜんぶが こんなぐあい。

ごぜんさまは すてきな ぼうしと ガウンを みにつけてる、 よね？ でも ざんねんながら かおは あんまり すてきじゃあなくって。

あかちゃんは —— まあ きみだって もっと かわいいこ みたこと あると おもうんだけど、 その、 もっと おとなしいこ、 ね。

でもね いま よおく みておいてね、 つぎ でてきたときに わかるかどうか たしかめるから！

コックは —— まあ もっと うでききの コック ひとりふたり あったこと あるかもね。

でもでも きっと これより ものすごい ネコは みたこと ないはず！ だよな？ ちょっと こんなネコちゃん かってみたくない？ みどりの めが あいらしくって、 えがおも とっても かわいくて。

ごぜんさま アリスには ひどく ぶしつけで。 まあ しょうがない。 その、 じぶんの あかちゃんなのに 「ブタ！」とか よぶくらいだし。 ブタじゃない、 よね？ あと コックに アリスの くびを たたきつけて いいつけたんだけど、 もちろん そんなこと コックは しなくて。 さいごには あかちゃんを こっちに なげつけてきてさ！ だから アリスは あかちゃんを うけとめて、 つれだしたんだ。 そうするしか なかったと おもう。

というわけで おうちからはなれて、 もりを ぬけて、 かわいくない そのあかちゃんを かかえて行ってね。 すごい じたばたしてた

から つかまえておくのも ほんとに たいへんで。 でも さいごには ひだりあしと みぎみみを ぐっと つかめば いいって きづいたんだ。

でも ふつうの あかちゃんを こんなふうにつかんでみちゃあ いけないよ、 めっ！ こんなふうにあやされたい あかちゃんなんて あんまり いないからね！

さて、 あかちゃんは ぶーぶー いいつづけてるわけで。 だから アリスも まがおで いわなきゃいけない。「もし ブタに なっちゃうんなら もう なんにも してあげなくてよ、 いいこと！」

って おわりに かおを のぞいてみたんだけど、 いったい どんな ことになっただと おもう？ さしえを ごらん、 こたえあわせ。

「えっ、 アリスが あやしてるの、 あなあかちゃんじゃ ないよ？」

ほおら、 やっぱり わかんなかった。 だから よく みておいてって いったのに！ うん、 これが あの あかちゃん。 こブタに かわっちゃったんだ！

なので、 アリスは したに おろして、 もりのなかへ はなしてね。 そこで ひとりごと。「ほんっと かわいくない あかちゃん！ でも ブタになったら ちょっとは ましかも。」

そのとおりだと おもわない？



9 チェシアネコ



ひとりぼっち、ひとりぼっち！ かわいそうな アリス！ あかちゃんどころか ブタも もう いっしょじゃない！

そんなとき チェシアネコが あたまのうえの きに やどったもんだから、とっても うれしかったこと わかるよね。

たしかに ネコは とっても すてきな えがおなんだけど、 ちょっと みて、はが ぎっしり！ アリス すこしだけ ひいてない？

うん、 まあ、 すこし。 でも やっぱり ネコだって はは いる
わけで。 それに いらいらしてたら なるべく にやにやは しないし
ね。 だから それなりに アリスも うれしくって。

アリス とっても おすましてなあい？ あたまを すくくと もた
げて、 りょうてを うしろに まわして、 まるで ネコに ものを
おしえてるみたい。

そういえば おしえておきたいことが ちょっと あるんだ。 アリス
と ネコの このさしえを みておいてね。 さあて ヘそを まげない
でね、 おねがい！ ほんの まめちしきだから！

きの そばに、 キツネノテブクロが あるの わかる？ これ、 ど
うして キツネノテブクロって いうか しってる？ もしかして キツ
ネと かかわりあるとか おもってる？ まちがい！ キツネは てぶく
ろ はめないよ！

もともとは 「こびとの てぶくろ」って いったんだ。 でも 「こ
び」って きつねの ばけものでも あるからね。

ここで まめちしきは おしまい。 いらいらが おさまるまで ちょ
っと まってるね。

どう？ すっかり おちついた？ もう だいじょうぶ？ くちの す
みも ひんまがってない？ じゃあ つづきを。

「チェッシャにゃん！」って、 アリスが よんでね。(ネコにしては
すてきな なまえじゃなあい？)「おしえてちょうだい、 ここから ど
ちらに いったほうが よくって？」

すると ネコは、 ぼうしやの ところへ いきたきゃ こっちの み
ち、 やよいウサギだったら あっちの みち、 って おしえてくれて
ね。「どっちも へんにゃ やつ！」って ネコは いうんだけど。

そのあと ネコが きえちゃって！ まるで ロウソクの ひが きえ
るみたいに！

まあ アリスは やよいウサギのほうへ あるきだすんだけど、 すずんでいくと また そこに ネコが いてさ！ そんなに すぐ でたり きてたりは いやだって いってやったんだ。

すると こんどは ネコも きえるのが すごく ゆっくりになって、 はじめが しっぽ、 さいごが にやにや。 へんてこじゃあない？ ネコが いなくなってるのに、 にやにやが あるなんて。 みてみたい？



このページの すみを めくってみたら、 にやにやを みてる アリスが でてくるよ。 ネコを みてたときよりも、 ちょっとだけ びくびくしてない、 かな？

10 おかしな おちゃかい



これは おかしな おちゃかい。 チェシアネコと わかれたあと、アリスは チェシアネコの おしえてくれたとおり、 やよいウサギと ぼうしやに あいにいったわけ。 みつけたとき そいつらは おおきなきのしたで おちゃかいをされていてね。 あいだには ヤマネも すわっ
ていて。

テーブルに ついてたのは この3にんだけだったんだけど、 そのまわりには ずらりと ティーカップが ならんでてね。 テーブル ぜんたいは みえないけど、 ほら さしえの ぶぶんだけでも カップが 9こも あるよね、 やよいウサギの てにあるのも くわえると。

そいつが やよいウサギ。 みみが ながくて、 かみに わらが ぐちゃぐちゃ からまっている。 わらが あるって あたまが おかしいしるしだからね —— なぜかは わからないけど。 ぜったいに かみのけに くくりつけちゃ だめだよ。 ひとに あいつの あたまは おかしいって おもわれるからね！

それから テーブルの はしに すてきな みどりの アームチェアがあったんだけど、それが まるで アリスの せきみたいに みえてね。だから そこへ 行って こしを おろしたんだ。

そうして やよいウサギと ぼうしやと ながなが おはなしをして。 ヤマネは あんまり しゃべらなかった。 ほら いつも ぐっすり ねむってるからね、 たまに ちょっと おきたりするだけで。

ねむってるぶんには やよいウサギにも ぼうしやにも つかいがってが いいんだよ、 だって あたまが まるくて ふかふかだから、 まくらみたいで。 ひじを ついても、 もたれかかっても、 きがねくはなしを しても いいんだ。 ふつうは あたまを まくらがわりにされるのなんて いやだよな？ でも ヤマネみたく ぐっすり ねむってたら、 きづかないよ。 だから きにならないんじゃないかな。

ざんねんながら アリスは のみもの たべものを すこしも もらえなくって。 でも しばらくしたら おちゃも バタートーストも ごじゆうに どうぞ ってことになって。 ただ いったい どのせきで たべたんだろうね、 そもそも おさらじたいがないし。 おさらがあるのは ぼうしやだけで。 いや、 きっと やよいウサギにも あったかも。 だって みんなで じゅんぐり せきを かえたら（それがこのへんてこな おちゃかいの きまりだからね）、 つぎに アリスが

すわるのは やよいウサギの せきだし、 そのとき ウサギが じぶんの おさらに ミルクつぼを ひっくりかえしてるって きづいたみたいだし。 きっと おさらと ミルクつぼは おっきな ティーポットの

うらに かくれてたんだよ。

このぼうしやは いつも うりものの ぼうしを もちあるいていてね。 あたまに のっかってるのも そもそも うりもの。 ほら、 ねだんが ついてるよね ——「10」と「6」—— これは 「ぎんか10まい どうか6まい」ってこと。 こんな の へんな うりかたじゃない？ あと きれいな ネクタイをつけてない？ ほら いいかんじの きいろい ネクタイ、 あかの みずたまいり。

そいつが たちあがって アリスに ひとつ。「かみを きりたまえ！」 おおきな おせわ、 だよな？ アリスの かみって きらなきゃいけないかな？ とっても かわいらしい ながさだと —— ちょうど いい ながさだと おもうんだけど。

1 1 クイーンのおにわ



これが まえに おはなしした
きれいな おにわの いっ
かく。 ほら、 アリスは さ
いごに なんとか ちいさくな
れたから、 あのちいさな ド
アも ぬけられてね。 たぶん
にほんあしで たった ネズミ
くらいの せたけ。 なので
これは もちろん ちっちゃな
バラの きで、 こいつらは
ちっちゃな にわし。

なんて おもしろい こびと
さんたち！ いや、 ひと、 なのかな？ たぶん いきてる トランプ
なんじゃないかな、 あたまと てあしが ついてるから、 こびとみた
いに みえると。 で、 あかい ペンキで なにを しているの、 か
な？ と、 いうことで アリスに わけを はなしたんだ。 ハートの
クイーンが そのあたりに あかい バラの きが ほしいって いっ
たらしいんだけど、 なのに かわいそうに このにわしくんたちは お
おまちがいを しでかして、 かわりに しろいのを うえちゃったんだ。

それで もう びくびくしてね、 だって クイーンさま きっと はらを たてて、 みんなの くびを ちょんぎれって いうに きまってるからね！

ものすごい こわい じょうさまで、 だれかに はらを たてるときまって そういうんだ。「くびを はねよ！」 だれも だれかの くびを ちょんぎったり しないんだけどね。 だって いうことなんて だれも きかないし。 でも いつも そういうふうに いうんだ。

さあて おいつめられた このにわたしたち、 どうしてみたのか わからない？ バラを あかく ぬって見たんだ。 おおあわてで、 クイーンが くるまえに やっちゃえってね。 そのあとなら たぶん クイーンも もともと しろい きだったなんて わからないしね。 そうなれば たぶん こびとたちも くびを ちょんぎられないで すむし！

ほら きに 5りんの おおきな しろバラが あるよね —— これを みんな あかくするのは けっこう たいへんだよ！ まだ 3つとはんぶんしか おわってないし、 ほら、 それに せめて むだばなしで てを とめたりしなけりゃ —— がんばろうよ、 こびとさん、 がんばってよ！ そうしないと おわらないうちに クイーン きちゃうよ！ きに しろバラが あるって しられたら となると おもう？ きっと 「くびを はねよ！」って。 もう がんばれって、 おまえら！ いそげ、 いそげ！

クイーンが きちゃった！ おこってない？ ああ、 かわいそうな アリスちゃん！



(※さしえと ほんぶんで バラの かずが ちがいますが、
これは オリジナルの とおりです。)

12 エビの フォークダンス

ゲートボールは やったこと ある？ いろんな いろの おおきな
きの ボールが あってね、 それを ころがして、 はりがねの ゲー
トの あいだに とおすんだ。 ながい とってつきの おおきな きづ
ちが あって、 それで ボールを こづいて ころがすんだよ。

さあて さしえを みてごらん。 ほら アリスが ゲートボールを
やってるところだよ。

「でも できてないよ、 なん
か よく わかんない おおき
いの かかえてるし！ ねえ、
あれじゃあ きづち もてない
よ？」

うん、 あのね、 あの よ
く わかんない おおきいの(ほ
んとの なまえは フラミンゴ
なんだけど)、 あれが つちな
んだよ！ このゲートボールで
は ボールは いきた ハリネ



ズミ —— しってる？ ハリネズミって ボールみたく まんまるに
なれるんだよ —— で あと つちが いきた フラミンゴって わけ！

それで アリスは ただいま ちょっと おやすみちゅう。 ひさしぶ
りの おともだち、 ごぜんさまと おはなしするためにね。 もちろん
なくさないよう つちを わきに かかえててね。

「でも おともだちじゃないし、 あんなやつ！ あかちゃんを ブタっ
ていうし、 アリスの くびを たたききれって いったし！」

うん、 あれは ほんの じょうだん。 アリスの くびを たたき
れだなんて。 あかちゃんは —— まあほんとに ブタだったしね！
あのえがお みてごらんよ！ ねえ、 あのくち アリスの あたまより
でっかいよね。 でも あれで みえてるのは はんぶんだからね！

でも ちょっとだけ おはなししたところで、 やってきた クイーン
が アリスを つれてっちゃってね。 グリフォンと ウミガメフーミに
あわせるんだって。



グリフォンが なにか
しらないの？ えっ！
じゃあ なにを しって
るの？ こいつは もん
だいだ。 でもでも、
さしえを ごらん。 あ
かい あたま、 あかい
つめに みどりの うろ
こ、 このいきものが
グリフォン。 これで
わかったね。

それから そのとなり
が ウミガメフーミ。

あたまが こウシなんだ。 だって ウミガメフーミの スープには こウシの あたまを つかうからね。 これで わかったね。

「でも こいつら なにしてんの、 アリスの まわりで あんなに ぐるぐる？」

えっ、 もちろん わかってると おもってた！ エビの フォークダンスを おどってるんだよ。

グリフォンと ウミガメフーミに つぎ あったとき、 おぎょうぎよく きいてみたら、 きっと また おどってくれるよ。 ただ あんまり ちかよらせないでね。 かわいそうに アリスみたく つまさを ふまれちゃうから。

13 だあれが タルトを めすんだの？



[See p. 50.]

ハートの クイーンが タルトを つくる はなし きいたこと ある？ そのあと どうなったか いえる？

「うん、 あったりまえ！ うたが ぜんぶ おしえてくれるじゃない！

ハートの クイーンが タルトを つくる
なつの さなか いちにち かけて
ハートの ジャックが タルトを ぬすむ
かくれて こっそり ひとりじめ！」

うん そうだね、 うたは そうなる。 ところが うたが こうだからって ジャックに おしおきするとか なしですよ。 まず わるいやつとして つかまえなきゃ いけなくて、 てくびに くさを つけて、 ハートの キングのまえに つれてって、 ちゃんとした おさばきを しなきゃね。

さあて このほんの はじめにある おおきな さしえを みれば、 このおさばきが どんなに おおごとか わかるよね。 さばくひとは キング！

キングって とっても えらい、 よね？ でも そんなに たのしくなさそう。 かつらのうえに のってる おおきな かんむりは おもしろそうで きゅうくつそうだしね。 でも やっぱり どっちも つけとかなないと。 でないと あいつが さばくひとで キングだって みんなに わかんないしね。

で、 クイーン なんだか むすっとしてない？ テーブルのうえにあるのは タルトの おさらだけ、 いっしょうけんめい つくったのにね。 それで いたずらな ジャックを みつけて（てくびから くさり

が たれてるの わかるよね?), おまえが わたしの つくった タルトを ぬすんだんだ、 って。 だから ちょっとくらい むすっとして たって むりもないってわけ。

しろウサギが キングの そばに たちながら、 あのうたを よみあげてて、 そいつが どんなに いたずらな ジャックかって みんなにつたえててね。 で、 はなしあうひとが (ほら、 はこがたの ざせきに カエルと アヒルの ふたりが みえるよね) そいつの 「ゆうざい」 「むざい」 どっちかに きめるってわけ。

さあて これから おはなしするのは、 アリスに なにが おこったか。

でね アリスも はこがたの ざせきの そばに すわってて。 まのあたりにしたひと ってことで よばれたんだ。 まのあたりって なんのことか わかる? わるいひとが、 おさばきされるようなことを した、 そのげんばを みたってことなんだ。 べつに ただ このおさばきで だいじなことを しってるだけでも いいんだけど。

ところが アリスは クイーンが タルトを つくるところなんて みてないし、 ジャックが タルトを たべるところも みてない。 ほんとのところ、 なあんにも しらない。 なのに いったい どうして よびだされたのか。 そんなの ぼくにも わからない!

とにかく みんなが よびたがってね。 で しろウサギが おおきな ラッパを ふいて、「アリス!」って おおごえ だして。 で アリスは おおあわてで たちあがって それから ——

それから なにが おこったと おもう? うん、 スカートが はこがたの ざせきに ひっかかって、 ざせきが ひっくりかえって、 さらに はなしあうひとたちも かわいそうに そこから おっこちちゃって!



12にん ぜんいん わかるか やってみようね。 ほら、 おさばきを はなしあうひとの かずは 12のはずだから。 ええと、 カエル、 ヤマネ、 クマネズミに イタチ、 ハリネズミに トカゲ、 チャボ、 モグラ、 アヒルに リス、 で モグラの うしろに ながい くちばしの わめいてる とりが いるね。

でも まだ 11。 あと もうひとり みつけないと。

あっ ちいさな しろい あたまが モグラの うしろから でてる。 ちょうど アヒルの くちばしの した？ とにかく これで 12。

さしえを かいたひとに よると うるさい とりさんは コウノトリの ひなで（もちろん わかったよね？）、 ちいさい しろあたまは ハツカネズミの こどもなんだって。 かわいい どうぶつじゃ なあ

い？

アリスは みんなを そろりそろり ひろいあげてね。 あんまり けがしてないと いいんだけど！

14 トランプの あめ



あらあら これは！ いったい どういうこと？ アリスに なにが
あったんだ？

さて それを これから できるかぎり おはなしするね。 これは おさばきが おひらきに なったところ。 キングが 12にんに ハートの ジャックの ゆうざい むざいを きめろと いったね —— つまり タルトを ぬすんだのは そいつなのか、 ほかの やつが たべたのか きめるって ことなんだけどね。 でも いじわるな クイーンは とにかく おしおきするって さきに きめたくって。 こんな の ただしくないよね？ だって ほら、 タルトを ぬすんでないんだったら もちろん おしおきなんか だめだし。 おしおきを うけるにしても じぶんの やったことにじゃないと、 ね？

だから アリスは いったんだ。「がらくたの からっぽ！」

すると クイーンは こういう。「こやつの くびを はねよ！」(これは おこったときの おきまりの ことばだったね。)

で アリスの へんじ。「あんたたちなんか こわくない！ ただの トランプじゃないの！」

となると みんな ぶんすかするわけで。 ちゅうに とびあがって アリスのうえへ みんなして ふりかかってきまして。 まるで ざあざあ にわかあめみたいに。

つぎに どうなったかなんて おもいも よらないよ。 そのつぎはね、 アリスが このへんてこな ゆめから めが さめたんだ。 きづいたら トランプは ただ きから おちてくる はっぱに なってて、 かぜが びゅーんて かおのほうへ ふきおろしてきててね。

アリスみたいに へんてこな ゆめ みられたら、 すてきじゃなあい？

いちばん いい やりかたは こう。 まず きのしたで ねそべって ね、 じっと まったあと ついに しろウサギが とけいを てに は してきたら そこで めを とじて、 あとは アリスちゃんに なったつもりで。

さようなら、　いとしい　アリス、　さようなら！

(おしまい)

The Original Text: *The Nursery "Alice"* (1890)

The Original Author: Lewis Carroll (1832-98)

The Original Illustrator: John Tenniel (1820-1914)

上記の翻訳底本は、著作権が失効しています。

えほんのアリス

著者：ルイス・キャロル

挿絵：ジョン・テニエル

翻訳者：大久保ゆう

※この翻訳は

「クリエイティブ・コモンズ 表示 2.1 日本 ライセンス」

(<http://creativecommons.org/licenses/by-nc/2.1/jp/>)

によって公開されています。

上記のライセンスに従って、訳者に断りなく
自由に利用・複製・再配布することができます。

※翻訳者のホームページは、<http://www.alz.jp/221b/> にあります。

作品・翻訳の最新情報やお問い合わせは、
青空文庫ではなく、こちらにお願いします。

2011年9月17日翻訳

2012年6月28日自作PDF作成

インターネット提供ファイル：

このファイルは、インターネットへフリー提供されています。